



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社アシックス

上場取引所 東大

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員・管理統括部長 兼 研究部門担当 (氏名) 佐野 俊之

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	123,935	6.5	11,064	△9.6	9,355	△10.1	5,106	△7.3
23年3月期第2四半期	116,422	5.1	12,245	29.6	10,411	21.1	5,508	110.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 6,412百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.94	—
23年3月期第2四半期	29.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	207,360	110,881	50.0
23年3月期	200,790	106,369	49.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 103,677百万円 23年3月期 99,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年11月4日)公表いたしました「配当方針の変更および平成24年3月期(第58期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	6.2	20,500	△5.0	18,500	△5.0	11,000	△0.4	58.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	199,962,991 株	23年3月期	199,962,991 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	10,371,280 株	23年3月期	10,359,131 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	189,597,003 株	23年3月期2Q	189,627,437 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成23年11月15日(火)に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 連結分類別売上高明細表	14
(2) 地域別売上高	14
(3) 在外子会社為替換算レート	15
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政問題や米国の高い失業率などにより、景気の回復は弱まりました。日本経済は、東日本大震災の影響により、景気は依然として厳しい状況にあるなか、生産の持ち直しなどにより緩やかに回復しているものの、企業収益の減少や雇用情勢の悪化などの懸念材料があります。

スポーツ用品業界につきましては、ランニングブームなどを背景に、健康志向によるスポーツへの関心が高まっているものの、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでのランニング事業の強化・拡大を図るとともに、「パリマラソン」、「ゴールドコーストマラソン」をはじめとする世界各地のマラソン大会への協賛や、テグ(韓国)で行われた世界陸上競技選手権大会における日本を含む10カ国の代表選手団への当社製品の提供など、ブランド力の強化および企業イメージの向上に努めました。

販売面におきましては、ブラジルにおける旗艦店として「アシックスストアサンパウロ」をオープンするなど、販売体制の強化に努めました。

また、グローバルでのアパレル事業の売上拡大・収益性向上を目指し、香港に「亞瑟士香港服装有限公司」を設立し、スポーツアパレルの開発・生産管理体制の基盤づくりを行いました。

新規ビジネスといたしましては、幼児の運動能力測定サービス「キッズスポーツチャレンジ」をスタートさせ、子どもたちの健全な育成につながる分野の事業を展開しました。

また、グローバルで活躍できる人材基盤の強化を目的とした社内人材育成制度「アシックスビジネスリーダースクール」を開始しました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は123,935百万円と前年同期間比6.5%の増収でした。このうち国内売上高は、主にランニングシューズおよびバスケットボールシューズが好調であったため、43,231百万円と前年同期間比4.3%の増収でした。海外売上高は、前連結会計年度において連結子会社としたホグロフスホールディングABおよびアシックスカナダコーポレーションの影響に加え、欧州および米州でランニングシューズが堅調に推移しましたので、80,703百万円と前年同期間比7.6%の増収でした。

売上総利益は主として売上高の増加により、54,512百万円と前年同期間比5.8%の増益でした。販売費及び一般管理費は、主に広告宣伝費などの増加に加え、前連結会計年度に行われた企業結合によって発生したのれんおよび無形固定資産の償却費を計上した結果、43,447百万円と前年同期間比10.6%増加となり、営業利益は11,064百万円と前年同期間比9.6%の減益となりました。経常利益は9,355百万円と前年同期間比10.1%の減益、四半期純利益は5,106百万円と前年同期間比7.3%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は207,360百万円（前連結会計年度末比3.3%増）、負債の部合計は96,479百万円（前連結会計年度末比2.2%増）、純資産の部合計は110,881百万円（前連結会計年度末比4.2%増）となりました。

流動資産は、たな卸資産の増加などにより、140,563百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。

固定資産は、主に連結子会社であるアシックスアメリカコーポレーションが配送センターを新設したことによる有形固定資産の増加により、66,797百万円（前連結会計年度末比4.1%増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、50,440百万円（前連結会計年度末比5.8%減）となりました。

固定負債は、リース債務の増加などにより、46,039百万円（前連結会計年度末比12.6%増）となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、115,554百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。

その他の包括利益累計額は、主に為替換算調整勘定が増加したことにより、△11,877百万円と前連結会計年度末に比べ910百万円増加しました。

少数株主持分は、7,204百万円（前連結会計年度末比5.3%増）となりました。

また、キャッシュ・フローにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、24,286百万円と前連結会計年度末に比べ1,192百万円減少しました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6,499百万円となり、前年同期間に比べ6,968百万円の収入減少となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9,301百万円、減価償却費2,455百万円、売上債権の減少額2,305百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額3,960百万円、仕入債務の減少額3,818百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,527百万円となり、前年同期間に比べ10,425百万円の支出減少となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,703百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出3,942百万円、有形固定資産の取得による支出2,075百万円、有価証券の純増加額979百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,401百万円となり、前年同期間5,112百万円の収入から支出に転じました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入1,540百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額1,897百万円、短期借入金の純減少額1,505百万円、長期借入金の返済による支出279百万円、リース債務の返済による支出210百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、主要通貨の為替レートが円高に推移していることにより、在外子会社の財務諸表換算においてマイナスの影響を与えることが予想され、加えて、米国でランニングシューズ、欧州ではスポーツスタイルシューズの売上高が予想を下回る見込みであり、また、仕入コストの増加に伴う原価率の上昇および為替差損の影響により、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益を下記のとおり修正いたします。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	254,000	22,500	22,500	13,500	71 19
今回修正予想 (B)	250,000	20,500	18,500	11,000	58 2
増減額 (B - A)	△4,000	△2,000	△4,000	△2,500	—
増減率 (%)	△1.6	△8.9	△17.8	△18.5	—

(参考)

通期の個別業績予想につきましては、売上高は前回発表数値から修正しておりませんが、経常利益および当期純利益は主に為替差損の影響により予想を下回る見込みであるため、下記のとおり修正いたします。

(通期)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,500	8,500	7,000	36 92
今回修正予想 (B)	71,500	7,200	6,300	33 23
増減額 (B - A)	—	△1,300	△700	—
増減率 (%)	—	△15.3	△10.0	—

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更および誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第2四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入額」は、「営業利益」に計上しておりますが、前第2四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,446	28,260
受取手形及び売掛金	55,059	53,730
有価証券	2,766	2,925
商品及び製品	42,373	45,954
仕掛品	307	272
原材料及び貯蔵品	1,044	1,262
繰延税金資産	4,778	5,284
その他	5,918	4,842
貸倒引当金	△2,064	△1,970
流動資産合計	136,629	140,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,612	31,962
減価償却累計額	△19,440	△19,914
建物及び構築物(純額)	12,171	12,047
機械装置及び運搬具	4,509	4,489
減価償却累計額	△3,275	△3,292
機械装置及び運搬具(純額)	1,233	1,196
工具、器具及び備品	9,275	12,326
減価償却累計額	△7,213	△7,742
工具、器具及び備品(純額)	2,062	4,584
土地	10,351	10,438
リース資産	1,539	3,959
減価償却累計額	△596	△783
リース資産(純額)	942	3,175
建設仮勘定	1,203	43
有形固定資産合計	27,965	31,486
無形固定資産		
のれん	5,949	5,896
その他	13,253	13,497
無形固定資産合計	19,202	19,393
投資その他の資産		
投資有価証券	6,650	6,191
長期貸付金	359	362
繰延税金資産	1,758	2,090
その他	9,732	8,764
貸倒引当金	△1,509	△1,491
投資その他の資産合計	16,992	15,917
固定資産合計	64,160	66,797
資産合計	200,790	207,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,113	17,797
短期借入金	14,090	12,647
リース債務	327	437
未払費用	7,737	7,811
未払法人税等	1,747	2,148
未払消費税等	588	539
返品調整引当金	620	453
賞与引当金	1,804	1,571
繰延税金負債	100	20
資産除去債務	23	24
その他	5,370	6,987
流動負債合計	53,523	50,440
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	6,425	7,657
リース債務	779	2,925
退職給付引当金	7,880	8,179
繰延税金負債	3,548	3,829
資産除去債務	514	549
その他	5,748	6,896
固定負債合計	40,897	46,039
負債合計	94,421	96,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	78,963	82,221
自己株式	△7,807	△7,821
株主資本合計	112,311	115,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	954	627
繰延ヘッジ損益	112	△1,919
在外子会社資産再評価差額金	472	426
為替換算調整勘定	△14,327	△11,011
その他の包括利益累計額合計	△12,787	△11,877
少数株主持分	6,844	7,204
純資産合計	106,369	110,881
負債純資産合計	200,790	207,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	116,422	123,935
売上原価	65,118	69,618
返品調整引当金戻入額	557	565
返品調整引当金繰入額	349	369
売上総利益	51,512	54,512
販売費及び一般管理費	39,266	43,447
営業利益	12,245	11,064
営業外収益		
受取利息	207	229
受取配当金	104	106
負ののれん償却額	10	10
その他	330	367
営業外収益合計	651	713
営業外費用		
支払利息	218	286
為替差損	2,056	2,034
その他	211	101
営業外費用合計	2,486	2,423
経常利益	10,411	9,355
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	—	9
投資有価証券償還益	—	11
貸倒引当金戻入額	151	—
特別利益合計	152	25
特別損失		
固定資産売却損	11	0
固定資産除却損	99	7
投資有価証券評価損	166	3
投資有価証券償還損	31	68
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	377	—
特別損失合計	686	79
税金等調整前四半期純利益	9,877	9,301
法人税等	4,004	3,799
少数株主損益調整前四半期純利益	5,872	5,502
少数株主利益	363	395
四半期純利益	5,508	5,106

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,872	5,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△568	△321
繰延ヘッジ損益	1,944	△2,078
在外子会社資産再評価差額金	△46	△46
為替換算調整勘定	△7,228	3,356
その他の包括利益合計	△5,898	910
四半期包括利益	△26	6,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△262	6,016
少数株主に係る四半期包括利益	236	395

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,877	9,301
減価償却費	1,614	2,455
のれん償却額	194	392
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△279	△147
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	456	392
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73	△233
投資有価証券評価損益 (△は益)	166	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△9
投資有価証券償還損益 (△は益)	31	56
受取利息及び受取配当金	△311	△336
支払利息	218	286
為替差損益 (△は益)	896	398
有形固定資産除売却損益 (△は益)	110	3
その他の損益 (△は益)	1,867	1,383
売上債権の増減額 (△は増加)	3,723	2,305
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,213	△2,648
その他の資産の増減額 (△は増加)	388	986
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,034	△3,818
未払消費税等の増減額 (△は減少)	101	△80
その他の負債の増減額 (△は減少)	△744	△294
小計	16,139	10,398
利息及び配当金の受取額	316	340
利息の支払額	△215	△278
法人税等の支払額	△2,772	△3,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,467	6,499
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40	△3,942
定期預金の払戻による収入	—	1,703
有形固定資産の取得による支出	△2,451	△2,075
有形固定資産の除却による支出	△8	△6
有形固定資産の売却による収入	45	15
無形固定資産の取得による支出	△232	△557
有価証券の純増減額 (△は増加)	△32	△979
投資有価証券の取得による支出	△58	△18
投資有価証券の売却及び償還による収入	449	118
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,728	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	8	298
長期貸付けによる支出	△25	△17
長期貸付金の回収による収入	30	33
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	93	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,952	△5,527

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	772	△1,505
長期借入れによる収入	2,500	1,540
長期借入金の返済による支出	△754	△279
社債の発行による収入	4,885	—
自己株式の取得による支出	△7	△14
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△159	△210
配当金の支払額	△1,893	△1,897
少数株主への配当金の支払額	△231	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,112	△2,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,468	237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,840	△1,192
現金及び現金同等物の期首残高	33,777	25,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,936	24,286

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項がないため記載しておりません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造および販売しており、国内においては当社が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、アシックスオセアニアPTY.LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

なお、当社グループは、従来「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「アジア・パシフィック地域」および「その他事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」および「その他事業」の6つを報告セグメントに変更しております。この変更は、当社の中期経営計画「アシックス・グロース・プラン (AGP) 2015」で定めた基本戦略（組織：グローバル組織の構築）を反映させるための報告セグメントの見直しであり、セグメント情報の有用性を高めることを目的としております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を製造および販売しており、「その他事業」は、「ホグロフス」ブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度に対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への売上高	43,845	31,517	29,212	5,458	6,356	—	116,391	31	116,422
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,176	—	—	—	—	—	6,176	(6,176)	—
計	50,022	31,517	29,212	5,458	6,356	—	122,567	(6,145)	116,422
セグメント利益 又は損失	1,915	2,627	5,569	1,739	479	—	12,330	(84)	12,245

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額△6,145百万円には、セグメント間調整によるもの△6,176百万円および報告セグメントに含まれない子会社の売上高31百万円を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△84百万円には、セグメント間調整によるもの△105百万円および報告セグメントに含まれない子会社の利益21百万円を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への売上高	45,462	31,256	31,723	5,337	6,822	3,288	123,891	44	123,935
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,439	0	—	—	73	—	6,513	(6,513)	—
計	51,901	31,257	31,723	5,337	6,895	3,288	130,404	(6,468)	123,935
セグメント利益 又は損失	2,812	2,121	4,311	1,394	771	(465)	10,946	118	11,064

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額△6,468百万円には、セグメント間調整によるもの△6,513百万円および報告セグメントに含まれない子会社の売上高44百万円を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額118百万円には、セグメント間調整によるもの98百万円および報告セグメントに含まれない子会社の利益20百万円を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(のれんの金額の重要な変動)

「米州地域」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるアシックスアメリカコーポレーションは、Agence Québec Plus Ltéeの全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は988百万円であります。

また、「その他事業」セグメントにおいて、当社は、ホグロフスホールディングABの全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は4,309百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

重要な事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項がないため記載していません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	22,158	19.0	23,791	19.2	1,633	7.4
	海外	68,176	58.6	70,239	56.7	2,062	3.0
	計	90,335	77.6	94,031	75.9	3,696	4.1
スポーツウェア類	国内	12,734	11.0	12,573	10.2	△161	△1.3
	海外	5,670	4.8	8,341	6.7	2,671	47.1
	計	18,404	15.8	20,914	16.9	2,509	13.6
スポーツ用具類	国内	6,553	5.6	6,867	5.5	313	4.8
	海外	1,129	1.0	2,122	1.7	992	87.9
	計	7,682	6.6	8,989	7.2	1,306	17.0
合計	国内	41,445	35.6	43,231	34.9	1,786	4.3
	海外	74,977	64.4	80,703	65.1	5,726	7.6
	計	116,422	100	123,935	100	7,512	6.5

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウェア類：トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
41,445	31,517	28,917	14,541	116,422

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
43,231	31,256	34,503	14,943	123,935

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
23年3月期第2四半期(円)	91.17	121.05	80.96	0.0782	—
24年3月期第2四半期(円)	81.72	114.82	85.18	0.0741	12.84
増減(円)	△9.45	△6.23	+4.22	△0.0041	—
増減比(%)	△10.4	△5.2	+5.2	△5.2	—

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業
売上高増減比(%)	(外貨)	—	+10.6	+14.5	△7.1	—	—
	(邦貨)	+3.8	△0.8	+8.6	△2.2	+8.5	—
セグメント利益増減比(%)	(外貨)	—	△9.9	△18.4	△23.8	—	—
	(邦貨)	+46.8	△19.2	△22.6	△19.8	+61.0	—
セグメント利益率(%)		5.4	6.8	13.6	26.1	11.2	△14.1